



測量地理空間 最新の技術動向紹介

日測協 イノベーション大会開幕

日本測量協会（日測協、清水英範会長）らによる「測量・地理空間情報イノベーション大会2024」が11日、東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール（東京都文京区）で開幕した＝写真。大阪など9カ所のサテライト会場にも中継し、測量関連の最新の技術動向などを紹介する。同日時点で約2600人が参加登録している。会期は12日まで。

空間情報総括監理技術者によるスペシャリストの会（SPの会）と地理空間情報専門技術者によるジオメトリストの会（GMの会）との共催。

清水会長は「測量地理空間情報分野の方は注目されてニーズも大きい。業務多忙で勉強する時間がない方が多い

だろう。総力を挙げて自信を持って提供する最大規模の勉強の場であり交流の場だ。有意義に活用してほしい」と呼び掛けた。後援する国土地理院の東出成記参事官は「最新技術が紹介され、イノベーションがさらに進むと確信している」とあいさつした。

初日には、地殻変動観測からみた能登半島地震をテーマにした京都大学防災研究所地震災害研究センターの西村卓也氏の特別講演などが行われた。測量会社によるIoTやビッグデータ、AIへの対応に関する講演や、「ソクジョの会」（旧測量・地理空間情報女性の技術力向上委員会）に関するパネルディスカッションも実施した。